

I 第27週の発生動向 (2012/7/2~2012/7/8)

1. 手足口病については、東地方+青森市保健所管内において第21週から**警報**が継続しています。

II 第27週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 +内科 (85) インフルエンザ															-5				
小児科 (74) RSウイルス感染症	1	0.1	1	0.1			2	0.4	2	0.3	10	2.5	16	0.4	2			1	0.1
(75) 咽頭結膜熱	1	0.1	1	0.1					1	0.2			3	0.1	-11			1	0.1
(76) 人形赤血性レンサ球菌咽頭炎	14	1.8	10	1.1	35	3.9	3	0.6	7	1.2	6	1.5	75	1.8	-16			14	1.8
(77) 感染性胃腸炎	20	2.5	11	1.2	9	1.0	3	0.6	27	4.5	25	6.3	95	2.3	-44			20	2.5
(78) 水痘	11	1.4	3	0.3	12	1.3	1	0.2	5	0.8	10	2.5	42	1.0	-5			11	1.4
(79) 手足口病	117	14.6	32	3.6			4	0.8	22	3.7	9	2.3	184	4.5	8			117	14.6
(80) 伝染性紅斑			5	0.6	1	0.1							6	0.1	1				
(81) 突発性発しん	4	0.5	2	0.2	3	0.3	2	0.4	5	0.8			16	0.4	-6			4	0.5
(82) 百日咳					2	0.2			3	0.5			5	0.1	4				
(83) ヘルパンギーナ	2	0.3	16	1.8			1	0.2	1	0.2	5	1.3	25	0.6	17			2	0.3
(84) 流行性耳下腺炎	15	1.9	6	0.7	4	0.4					3	0.8	28	0.7	4			15	1.9
眼科 (86) 急性出血性結膜炎							1	1.0							-2				
(87) 流行性角結膜炎	1	0.5			5	2.5							7	0.6	1			1	0.5
基幹 (92) クラミジア肺炎															0				
(93) 細菌性髄膜炎															0				
(95) マイコプラズマ肺炎			5	5.0	2	2.0					4	4.0	11	1.8	-4				
(96) 無菌性髄膜炎															0				

は警報、は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出状況は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患)：青森市1人、八戸2人、五所川原1人、上十三2人 (2012年計:237人)

(34) つつが虫病(四類全数把握疾患)：弘前2人 (2012年計:8人)

IV 病原体検出情報 ※ () 内は、検査材料及び検体採取日、患者数です。

- ・上気道炎患者6名(咽頭ぬぐい液、鼻汁、5/2~5/15)・・・**ライノウイルス(HRV)**：弘前(3)、八戸(1)、**アデノウイルス(A d V) 2型**：弘前(1)、**ヒトメタニューモウイルス**：弘前(1)
- ・下気道炎患者7名(鼻汁、4/13~5/15)・・・**HRV**：弘前(5)、**ボカウイルス**：弘前(1)、**HRV及びボカウイルス**：弘前(1)
- ・感染性胃腸炎患者2名(直腸ぬぐい液、4/26~5/14)・・・**A d V 2型**：弘前(1)、**ノロウイルスG II型**：むつ(1)



水痘・帯状疱疹ウイルス (varicella. zoster virus: VZV)

水痘・帯状疱疹ウイルス(VZV)は、ヘルペスウイルス科α亜科に属するウイルスで、ヒトが唯一の宿主です。

ウイルスは通常気道粘膜から侵入し、鼻咽頭の侵入部位と所属リンパ節で増殖した後、一次ウイルス血症を起こします。ウイルスは、他の器官、肝臓、脾臓などに散布され、そこで増殖した後二次ウイルス血症を起こし、皮膚に水疱を形成します。

発疹は頭皮を含む全身に現れ、短時間で紅斑から丘疹、水疱を経て痂皮になり、各段階の発疹が混在するのが特徴です。一般に軽症で、大半は一週間程度で回復します。

水痘から回復した後、ウイルスは脊髄後根神経節に潜伏感染し、宿主の免疫機能の低下に伴い再活性化し、潜伏感染した知覚神経支配領域に沿って出現し、帯状疱疹となります。水痘と異なり、疼痛を伴うことが多く治癒後も頑固な痛みを残すことがあります。治療には、抗ウイルス剤を用います。(参考「ウイルス感染症の検査・診断スタンダード」羊土社)

今年の県内は、ほとんどの地域で、定点当たり患者報告数が平年(過去10年間の平均値)より少なくなっています。しかし東地方+青森市保健所管内では、平年と同等になっているため、他地域の今後の動向に注意が必要です(図)。

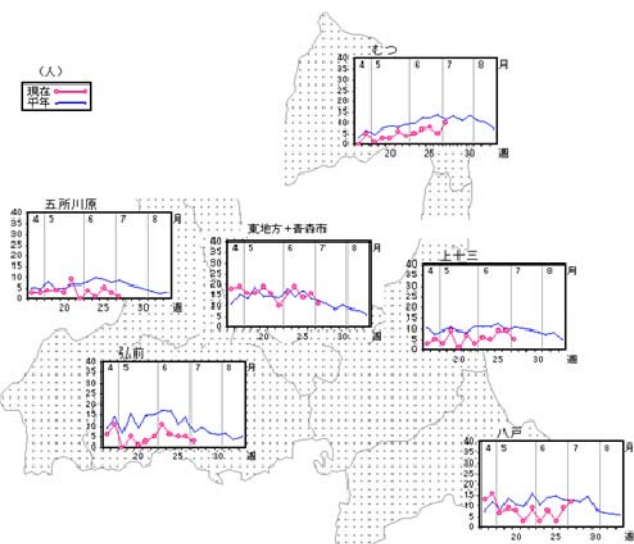


図 2012年の保健所管内別水痘報告数の推移

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（青森県）

（届出数は速報値です）単位：人 2012年第8週～第26週

c	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
8	H24.2.20 ~ H24.2.26						
9	H24.2.27 ~ H24.3.4			劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人			
10	H24.3.5 ~ H24.3.11						
11	H24.3.12 ~ H24.3.18						
12	H24.3.19 ~ H24.3.25						
13	H24.3.26 ~ H24.4.1		梅毒(1人)				
14	H24.4.2 ~ H24.4.8						
15	H24.4.9 ~ H24.4.15			腸管出血性大腸菌感染症1人 急性脳炎1人			
16	H24.4.16 ~ H24.4.22						
17	H24.4.23 ~ H24.4.29						
18	H24.4.30 ~ H24.5.6						
19	H24.5.7 ~ H24.5.13						
20	H24.5.14 ~ H24.5.20	腸管出血性大腸菌感染症1人 E型肝炎1人	つつが虫病1人				
21	H24.5.21 ~ H24.5.27		梅毒1人	つつが虫病1人 アメーバ赤痢1人		つつが虫病1人 アメーバ赤痢1人	
22	H24.5.28 ~ H24.6.3			後天性免疫不全症候群1人	つつが虫病1人		
23	H24.6.4 ~ H24.6.10			レジオネラ症1人		つつが虫病1人	
24	H24.6.11 ~ H24.6.17			バンコマイシン耐性腸球菌感染症1人		つつが虫病1人	
25	H24.6.18 ~ H24.6.24	梅毒1人		腸管出血性大腸菌感染症1人			
26	H24.6.25 ~ H24.7.1						腸管出血性大腸菌感染症1人

VI 結核(二類全数把握疾患)

単位：人

2012年第8週～第26週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
8	H24.2.20 ~ H24.2.26	1	2	4	2	3	
9	H24.2.27 ~ H24.3.4	9					
10	H24.3.5 ~ H24.3.11	3	3	2	1	1	
11	H24.3.12 ~ H24.3.18	5		4		4	
12	H24.3.19 ~ H24.3.25		1	3		5	1
13	H24.3.26 ~ H24.4.1	1	6	3	1	3	
14	H24.4.2 ~ H24.4.8	1	2	4		3	
15	H24.4.9 ~ H24.4.15		4	1	2	1	
16	H24.4.16 ~ H24.4.22	5	2	4		1	
17	H24.4.23 ~ H24.4.29	3		7		1	
18	H24.4.30 ~ H24.5.6	2	1	7	1		
19	H24.5.7 ~ H24.5.13	3	1				
20	H24.5.14 ~ H24.5.20	1	1	2	1	2	1
21	H24.5.21 ~ H24.5.27	2	1	2	1	2	
22	H24.5.28 ~ H24.6.3	6	1	2		2	
23	H24.6.4 ~ H24.6.10	1	1	4	1	1	
24	H24.6.11 ~ H24.6.17	3		3		2	
25	H24.6.18 ~ H24.6.24	2		3	1	1	
26	H24.6.25 ~ H24.7.1	2		1	1	1	

VII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）

（注：届出状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

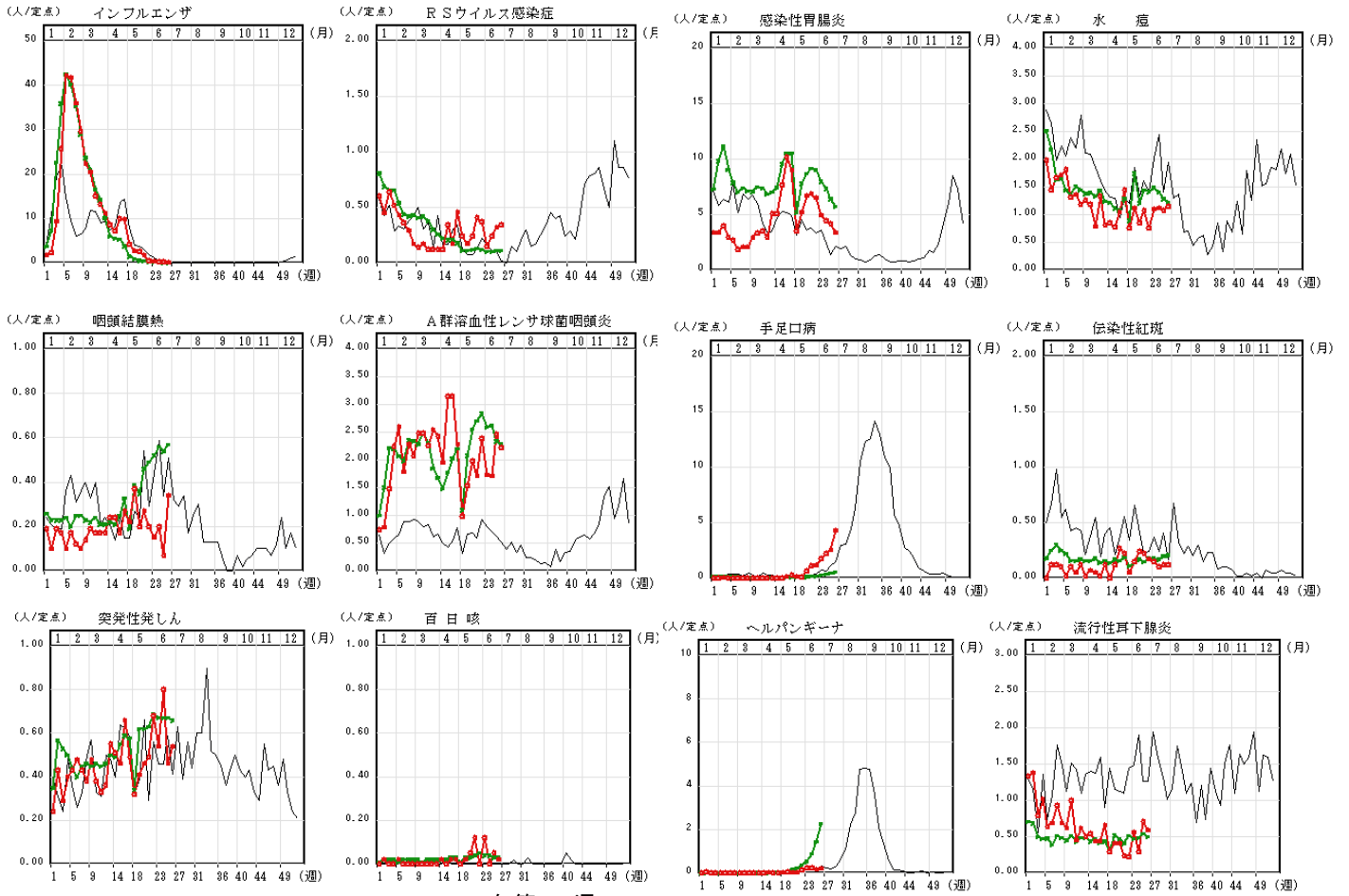
2012年7月9日19時00分集計速報値

	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	
	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	コクシジオイテス症	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ポツリヌス症	マリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	
全国	14558	2	107	958	14	10	72	105	5	4	1	1	178	64	36	3	37	3	388	5	
青森県	231	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	2	0	
	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	髄膜炎菌性髄膜炎	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん							
全国	413	111	221	6	92	145	688	29	6	418	47	43	543	170							
青森県	2	0	2	0	0	1	3	0	0	3	0	1	0	0							

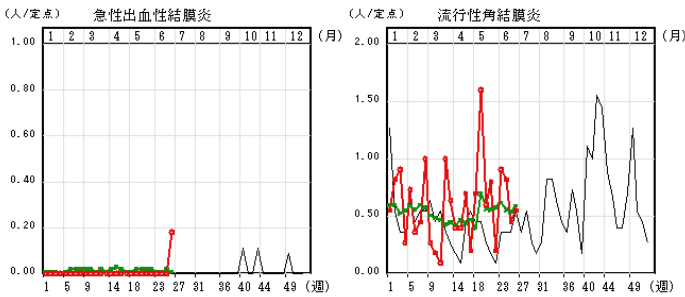
グラフの説明 ○—○は2012年青森県、——は2011年青森県、○—○は2012年全国

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

2012年第26週



Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移 2012年第26週



Ⅹ 基幹定点把握疾患週別推移 2012年第26週

